

はじめよう、フードドライブ

食べることに困っている人たちへ
食糧物を届けたい。

いただきものや買いすぎってしまったもの、
何らかの理由で流通にのらないものなど
保管されたままの食料品をフードバンクなどを通じて
地域の生活困窮者や児童・障がい者施設などに
寄付する活動、それが
“FOOD DRIVE (フードドライブ)”です。
学校や職場、いつも交流している身近な方々で
食料支援をはじめませんか。

※「ドライブ」とは「運動」「キャンペーン」というような意味です。



food bank IWATE

ご提供いただきたい食料品

食料品例

- 缶詰類(サバ缶、サンマ缶、ツナ缶、焼き鳥缶、大豆缶など)
- レトルト食品(カレー、親子丼、牛丼、ミートソース、釜飯の素など)
- 瓶詰類(なめ茸、佃煮、さけフレークなど)
- ふりかけ類(ふりかけ、お茶漬の素などご飯のお伴)
- 乾物類(わかめ、はるさめ、かつおぶし、昆布、ひじき、インスタントみそ汁など)
- お米(精米、前年度産までの分)
- 乾麺(スパゲッティ、インスタント麺など)
- 贈答品(のり、お茶、お歳暮・お中元など)

条件

- 賞味期限が1ヶ月以上のもので
 - 未開封のもの
- ※アルコール類、自家製品(漬け物等)は
受付けていません。
- ※冷凍・冷蔵品、日持ちがする根菜類については
お尋ねください。

ご協力いただける 企業を募集しています

食料の提供 / 食料の運搬・保管 / 寄付金
ご支援をいただけませんか。

社会貢献
地域社会への
貢献ができ、企業の
イメージ向上に
つながります。

コスト削減
食料提供することで
食品ロスを減らし
廃棄コストを
削減できます。

事業効果
地域課題への
企業の取り組みは
新しいチャンスを生みます。

food bank IWATE

子どもの貧困 生活困窮者が増えている

日本の子どもの貧困率は戦後最大の16.3%となってしまいました。一日の食事が「給食だけ」の生徒もいます。

「おにぎり食べたい」と日記に書き残して亡くなった52歳の失業中の男性(2007年北九州市)。「もっとおいしい食事をさせてあげたかった」というメモを残して3歳の子供と一緒に亡くなった28歳のDV被害の女性(2013年大阪市)。公営住宅強制退去の日に、必死に守り続けてきた中2の一人娘を絞殺し、4日前に撮ったビデオを見終わったら死のうと思った44歳の母(2014年銚子市)。貧困による悲劇の報道が後をたちません。

生活保護受給者と生活保護基準以下で暮らしている人がどれくらいいるかを示す都道府県別貧困率(山形大学人文学部戸室健作准教授論説)を見ると岩手県は16%。6世帯に1世帯が困窮世帯ということになります。

本当に困っていても、誰か頼れる人がいなければ「助けてくれ」と言うことができません。その結果、誰にも気づかれぬまま飢餓で命を落としてしまう悲劇が生まれます。突然の解雇や倒産、介護や病気による失職、災害、障害、DVなどをきっかけとして、誰もが生活困窮におちいる可能性があります。しかし支援さえあれば、そこから抜け出すこともできるのです。

	子どもの貧困率	相対的貧困率
1985年	10.9%	12.0%
1994年	12.1%	13.7%
2003年	13.7%	14.9%
2012年	16.3%	16.1%

※厚生労働省の国民生活基礎調査の概況より

food bank IWATE